

令和4年5月19日

保護者等様

伊勢まなび高等学校長

## 気象警報および南海トラフ地震臨時情報発表時、 全国瞬時警報システム（Jアラート）発信時等の対応について

平素は本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、気象警報および南海トラフ地震臨時情報発表時、全国瞬時警報システム（Jアラート）発信時等における対応については、下記のとおりとしますのでご確認ください。

また、帰宅方法や連絡手段等についても各家庭で十分話し合っておいてくださるようお願いいたします。

### 記

#### 1 気象警報

- ① 特別警報（大雨・暴風・暴風雪・大雪・大津波）または暴風警報・暴風雪警報が伊勢市に発表されている場合は、生徒は登校しなくてよい。

※伊勢市以外に居住地があり、その居住地に上記警報が発表されている場合、該当生徒は登校しなくてもよい。また、津波警報の場合は途中経路の危険性等を十分考慮して各自で判断する。

- ② 特別警報（大雨・暴風・暴風雪・大雪・大津波）または暴風警報・暴風雪警報が下表の時間帯に解除された場合は、授業を開始するので、解除後十分注意して登校する。

ただし、通学時間や交通機関の状況、危険性等を考慮して柔軟に対応する。

特別警報（大雨・暴風・暴風雪・大雪・大津波） または暴風警報・暴風雪警報が解除された時間	開始する授業
午前 6時00分前	1限目の授業から開始
午前 6時00分～午前11時00分前	5限目の授業から開始
午前11時00分～午後 3時00分前	9限目の授業から開始

- ③ 登下校中に特別警報（大雨・暴風・暴風雪・大雪・大津波）または暴風警報・暴風雪警報が発表された場合、登校するか下校するかは、原則近い方とする。ただし、途中経路の安全が確認できない場合のため、最寄りの避難所や公共施設、頑丈なビル等への緊急避難も考えておく。

- ④ 在校時に特別警報（大雨・暴風・暴風雪・大雪・大津波）または暴風警報・暴風雪警報が発表された場合は、状況に応じ指示をする。

- ⑤ 登下校の際は、道路状況などに十分注意して、安全な行動をとる。

- ⑥ 他部履修をしている生徒は、授業開始について十分留意する。

- ⑦ 上記規定は、特別警報（大雨・暴風・暴風雪・大雪・大津波）または暴風警報・暴風雪警報に適用します。

特別警報（高潮または波浪）、大雨警報・洪水警報・津波警報等は交通機関の状況、危険性等を考慮して各自で柔軟に対応することになります。

判断基準としては、公共交通機関の運休など通常の通学方法での登下校が困難な場合、あるいは通学路冠水等で危険な状態（またはそれらが想定される状態）である場合などは、自宅待機となります。

## 2 南海トラフ地震臨時情報

### (1) 南海トラフ地震臨時情報への対応

- ア 南海トラフ地震臨時情報（調査中）が発表されたとき
  - ・日ごろから地震への備えを再確認する。
  - ・情報収集に努める。
  - ・平常どおり過ごす。
- イ 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されたとき
  - ・情報収集に努める。
  - ・状況に応じて下校や休校とする。
- ウ 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されたとき
  - ・情報収集に努める。
  - ・1週間程度の休業することを基本とする。
- エ 南海トラフ地震臨時情報（調査終了）が発表されたとき
  - ・日ごろから地震への備えを再確認する。

### (2) 在校中に大地震が発生し、三重県南部に大津波警報が発表された時の対応

- ア 地震の時は慌てて校舎外に飛び出すことなく、揺れがおさまるまで倒れやすい戸棚や窓ガラスから身を離し、天井などからの落下物などから身を保護するため机の下などに身を寄せ安全を確保する。
- イ 揺れがおさまったら、速やかに3階または屋上に避難する。校舎が倒壊等の恐れがあり、危険と思われるときは、また、土砂災害が発生したときは、倉田山公園方面へ避難する。
- ウ 始業前または終業後に大地震が発生した場合、登下校中の生徒は途中経路の安全に十分注意すること。なお、登校するか下校するかは、原則近い方とする。但し、途中経路の安全が確認できない場合、最寄りの避難所や公共施設、頑丈なビル等への緊急避難も考えておく。  
特に、沿岸部など津波被害が想定される場所に居る場合は、直ちに高台や高層ビル等へ避難する。

参考標高：伊勢まなび高校校舎	2.3m	倉田山中学校校舎	14.6m
伊勢高校体育館	23.8m	倉田山公園(野球場)	18.8m

## 3 全国瞬時警報システム（Jアラート）発信

### （弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合の対応）

- ア 登校前にJアラートを聞いた場合
  - 安全が確認されるまで自宅待機する。
  - 安全が確認でき次第、絆ネット等で対応を連絡する。
- イ 登下校中にJアラートを聞いた場合
  - 近くに鉄筋コンクリート造の建物がある場合は建物内に避難し、身を低くし頭部を守るための安全姿勢をとる。
  - 近くに鉄筋コンクリート造の建物がない場合はブロック塀を避けできるだけ建物の中に避難し、身を低くして頭部を守るための安全姿勢をとる。
- ウ 学校内にいる時にJアラートを聞いた場合
  - すみやかに校舎に避難し、身を低くし頭部を守るための安全姿勢をとる。